廿七日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷發行人　岡田弘盛
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金拾錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行で四字詰金五十錢
▲日刊（毎、祭日）休刊

小名濱浚渫費
明年度一萬五千圓

小名濱港繫船壁區域内に漂砂堆積せるため繫船に支障を來すとこから本年度も浚渫費を計上し浚渫しつゝあるが同港は近く商港として實現する域に達してゐるためこれが維持は必要缺くべからざる事なので縣では昭和三年度豫算に浚渫その他の維持費として一萬五千六百七十六圓を計上する事になつた。

▲賃調委員當選者
土地賃貸價格調査委員當選者石城郡の分昨報の如くであるが其後判明せるもの左の如し。

▲小川村國井義▲永戸村、箕輪村萩野倉太▲上遠野松本幸太郎▲入遠野樋口幸左衛門▲平町猪狩喜四郎▲夏井村片寄傳次郎▲三阪佐藤倉藏

平管内で
三百八萬圓
乙種資本利子稅

平稅務署に於て昭和二年度に徴收すべき第三種所得稅乙種資本利子稅は其總額三百八萬八千圓であつて、それを種別にすると大体左の如くであるが總額の控除額は保險の四萬八千百九十六圓、老幼扶養十一萬八十三圓であると。

▲貸地貸家所得二五五、四三六▲田地所得五〇二、六八九▲畑地所得四三、七五三▲原野所得一、一五三▲鑛山所得二、〇〇〇▲俸級給料所得三九〇、一四九▲賞與所得一二一、七四五▲庶務所得一二一、二一四▲勞力所得一、二九六▲產馬養蠶所得五七、〇九〇▲商業所得八五一、四一四▲工業所得一六七、六一三▲非營業者賃金利子六四、二六三▲配當所得二三三、三〇四▲其他一〇〇、四一五▲山林八三、四四五

二毛作品評
褒賞授與式

平町外夏井、神谷、平窪、好間一町四ヶ村聯合二毛作品評會は過般行つたが之が褒賞授與式は八月一日午前十時平町平町役場で擧行する筈で受賞者は左の如くである。

▲好間村熊谷信安▲平窪村川角文五郎▲神谷村八幡民彌▲平町猪狩喜四郎▲夏井村片寄傳次郎

▲吉田校長叙位
平商業學校長吉田利吉氏は二十六日附で從七位に叙せられた。

石城地方の
果實の成育
今分では心配いらぬ

石城郡地方に於ける果實の栽培は年々盛んになり郡農會等でも懸命に指導督勵してゐる結果石城果實の聲價は最近頓に揚がりつつある時が丁度開花の最盛期だつたので梨・桃等成績がよく之が中央市場に於て優良品として取引されるやうになつた、殊に梨は信達地方のそれに劣らない優良品を生產してゐるが、本年の開花成績を見ると氣候の順調だ

施肥調査地
生育況視察

縣農事試驗場高崎技手は左の日割により石城郡内の施肥標準調査原地試驗田生育狀況視察のため來郡すると。

▲二十七日大浦▲二十八日磐崎、泉▲二十九日勿來▲三十日高久▲三十一日平窪

▲胡瓜品評授與式
好間農會主催胡瓜立毛品評會は曩に行つたが大山技師審査の上左の如く等級を定めず二月中褒賞授與式を行ふと。

▲一等今新田入江儀右工門▲二等愛谷木田左吉、薗部久一猪狩誠一▲三等叶多清外五名▲四等根内孝正外九名

▲石城將校會
石城將校會では三十一日午前十時から勿來町海岸で地曳網等に與じ樣山少尉の勿來關に關する講演があると。

▲受驗準備講習
縣立磐城中學校同窓會主催第四回受驗準備夏期講習會は二十五日から十五日間の豫定で同校内に開催中であるが科目は英語、國語漢文、數學、講師は磐中教諭であると。

區會廢止決議は
取消しはしない
昨日湯本町會で決定
憤慨した湯本區民

湯本町區制廢止問題は屢報の如く町會で廢止決議を行つただけでは何等廢止の効力が生じない事を知つた町會では廢止決議を取消すらしい形勢であつたが二十六日午前十一時之に關して町會を招集し協議した結果去る七月八日湯本町會に於ける區會廢止決議はそのまゝに保留しその實行は區民の意志を聞いた上にする事を決議したので區民は、決議を放棄しないのは後日區制廢止の意志があるものであると大いに憤慨し同日午後四時から區會議員會を開いたが對策を見ず更に二十九日午前十時から區會を召集して對策を講ずる事になつたが、漸やく纏まりかけた問題も二十六日の町會決議により更に紛糾狀態に逆戻りした。

平町に
赤痢病發生

二十五日平町一町目及び月見町から各々一名宛の赤痢患者を發生し直ちに隔離病舍に收容したが蔓延の兆あり役場吏員出張二十五日大消毒をなした。

豫防法を教へても
實行せぬ農民
小名濱の稻熱病猖獗

小名濱町附近の稻熱病被害は屢報の如くであるが縣長澤技手、郡駐在神尾技師の兩氏は二十六日同地に出張字定西區長宅に附近農民約五十名を集め手當並に豫防方法について詳細な指示を行つたが、同地の稻熱病は日を逐ふて被害の度が甚だしくなつてゐるが、之は農民が指示した手當方法を行はぬためだと兩技術員は語つてゐた。

第一師團で
櫛田氏に應援

青森、下の關間長途單騎乘を計劃した上遠野村櫛田彦之進氏は其後第二師團から正式に十分應援するとの通知に接し去る二十五日福島市に至り福島聯隊區を訪問種々打合せを遂げたが、櫛田氏は八月中二週間仙臺騎兵第東都の童話文家樫葉清氏の講話並に川崎文治氏の童話がある。

製糸場を逃げ
酌婦になる

喜多方町生れ當時豐間村八幡町飲食店新菊方酌婦高橋みつ（二一）は去る四月中郡山市製糸場小口組の女中に雇はれ中前借七十圓を踏み倒して逃走したもの であるが事判明二十六日平署の取調べを受けた。

驚いた!!!
こうまで安いとは
―加納活版所の印刷物!!

女タイピスト募集

四倉町磐城セメント會社では女邦文タイピスト一名を募集中であるが資格は高女生程度、勤務時間は午前七時から午後五時まで希望者は自筆履歴書を送るべしと。

編輯日記（廿七日）　馬村

▲八丈島の距離が問題となる。杉本東日君「鳥も通はぬ八丈島」だから余程遠いんだね。君は時折洒落を言ふ人。

▲洒落のうまい人に報知榎本君がゐる。早大當時鍛ねた垢ぬけしたシャレ。道理で近頃界隈に洒落の流行る事……。

▲落磐で坑夫死亡
新潟縣中蒲原郡横越村生れ當時赤井村高萩福島炭礦坑夫高橋政勝一八二は二十六日午後二時三十分頃福島炭礦第五坑右四片六昇で採炭作業中落磐のため重傷を蒙つたのを現場員が發見手當を施したが五時三十分死亡した。

▲兒童研究會
石城兒童研究會では來る二十日平第二小學校に於て子供小集會を催はし東都の童話文家樫葉清氏の講話並に川崎文治氏の童話がある。

平第一校
臨海學校

平町第一小學校生徒希望者四十名よりなる臨海學校は八月一日から八日間小名濱海岸に於て開催する事になつたが宿舍は同町地福院で會我校長以下六名の教師が指導監督すると。

▲落磐で坑夫死亡
新潟縣中蒲原郡横越村生れ當時赤井村高萩福島炭礦坑夫高橋政勝

磐女水泳部

（第一信）通信係

七月二十四日、二三の欠員を除いての外一同六十名許り全部合宿所につきました、元氣で室内其の他整頓等して自炊生活の第一歩である晝食をすました所です、馴れない生活でありますがおいしく戴きました、午後一時、家庭から放れて團体生活を如何に有益に過すかと云ふ先生からのお話等ありました、午後雨がごやみになりましたから海水着にきかへ濱に出ました、海邊は昨年と何等變化はありません遙か沖は深く霧で閉ぢ込められて船影もはつきり致しません、船入につきまだ温まらぬ水中に入りボチャ〳〵して見ましたがなか〳〵冷えます、枯木等を集めてたき火をして身体を温め時頃歸宅しました、机につきましたら波音は高くきこへて來ます、明日の猛練習を期して安き眠りにつきました。

（第二信）

廿五日　午前雨　午後晴

午前中の天候はすつかり變つて白熱的な太陽の下に砂丘の砂は焼けつきそうでした、砂にからまるその心地よさ！私達は眞當に今日はめぐまれた日でした、山崎先生の御指導の下に私達は心行くばかり泳ぎました。

夕食の時には校長先生のお料理に一同舌つづみを打ちました、いろ〳〵の談話の後に七時半に寢床につきました。

内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科
高久病院
院長　高久忠
平町　電話一三五

平好間間自動車運轉開始
七月二十二日より（毎日午前七時より）
停留所　平町古鍛冶町天理教會前
同　好間村權現堂（元山入口）
貸切御申込の際は電話八番に御申越を願ひます。
平町一丁目（谷口通り）
三井自動車營業所

女邦文タイピスト
▲資格　高女生程度
▲年齢　二十歳前後
▲自筆履歴書八月五日迄送附あれ
面會日通知す
◎勤務　午前七時から午後五時まで
四倉町
磐城セメント株式會社

御宴會　五品御銚子一本付　金壹圓貳拾錢
蒲燒　御一人前　金壹圓貳拾錢
うな丼　金七拾錢
右の通り大勉強致します何卒御引立の程願ひ上げます
來る三十日は土用丑の日です
大南町　**和家**　〔電話十四番〕

靴とかばん
◎御注文は特に勉強
◎既成品も豊富にあります
平町搔槌小路（役場前）
福山靴店

醤油と味噌
福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部專用一〇番　一般用二七番）
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七一二番
振替東京六八三一二番

◎酷暑を避けて!!!
海へ!!!
山へ!!!
海水浴着と登山袋
携帯用鞄各種
運送に最も理想的なズック製布團入
ツルヤ洋品店
平町四丁目〔電話百四十番〕

悪性ノ皮膚病ト
花柳病ノ豫防ニハ
セイビ
一個　五十錢　三十錢
特約店　磐城平町　開内藥局　電四〇番

◎簡易の金融—誠意と堅實　◎趣味貯蓄—共存と共榮
▲絶へず會員を募ります　▲何時も御申込下さい
大藏省免許
磐城無盡商會
本店植田町本丁　支店平町中丁

古來よりの靈藥　眞正の六神丸として好評偉大
支那六神丸　定價一圓・二圓・五圓
復方ヂアスターゼ錠
あらゆる胃散にて癒さる人々に直ちに服用を勸む
大販賣店　**山野邊藥局**
平町五丁目角

腦と生殖器の世界的發見藥（睪丸エキス）
エキスピン
◎記憶の惡き人　◎藥物中毒の人
◎頭の痛む人　◎老衰を恐れる人
◎精力減退の人　◎夜良く寢れぬ人
平町田町（電話五五一番）
一手販賣元　**宇佐美藥局**
（申込次第實驗報告藥進呈）

平町縣社通り
美味で評判の
イワキ食堂
國伴席の設備あり
電話四六〇番

階上食堂

特別大興行……納涼映畫
◎日活映畫　兒島三郎、澤村春子、尾上多見太郎　櫻木梅子共演　時代喜劇　**粗忽な武士**　全七卷
小笠原の臣河鍋五郎太は武術家中に並びなき天晴れの武士であるが性來無頓着にして粗忽極まりなき事亦藩中に並ぶ者がなかつた……脫線に混亂は茲に悲劇あり喜劇あり活劇あり……
◎超特作連續映畫　現代連載好評　原作紀潮音氏　西條香代子、南部章三、東坊城恭長、島耕二熱演　怪奇探偵活劇　**死の寶庫**　全廿二卷　前篇上映
多數覆面の怪人は或は徒歩で怪しき塔の家の廻りに集つてゐる、この塔の底に夥しい財寶が隱されてゐる、劇の中心は塔にあり、そして主なる關係を有してゐる……。
◎連續好評映畫　原作大佛次郎氏　河部五郎、大河内傳次郎、澤村春子夫共演　時代連續映畫　**照る日くもる日**　第四篇　八卷上映
修羅場と化した向島の化物屋敷、白刃閃き猛火点々たる中、怪傑白雲堂の活躍愈々白熱的境佳に入る……
當る廿八日より公開　平館